



2023年9月19日

各 位

株式会社ミマキエンジニアリング  
代表取締役社長 池田和明  
(コード番号：6638 東証プライム)  
問い合わせ先 常務取締役経営企画本部長 清水浩司  
電話番号：0268-80-0058

多様な基材に多彩な表現。

これからのサイングラフィックス市場を牽引するUVプリンタ UCJV330シリーズを発表

～ 「UVはMimaki」 高画質・高速のフラッグシップモデル ～

当社は、サイングラフィックプリント用途に向けて、生産性と画質を従来機より大幅に向上させた多用途のUV-LED方式Roll to Roll インクジェットプリンタ「UCJV330シリーズ」の発売を発表し、10月下旬より全世界で販売開始しますので、別紙のとおりお知らせいたします。

以上

多様な基材に多彩な表現。  
これからのサイングラフィックス市場を牽引する  
UV プリンタ UCJV330 シリーズを発表  
～「UV は Mimaki」高画質・高速のフラッグシップモデル～



産業用インクジェットプリンタ、カッティングプロッタ、3D プリンタを手掛ける株式会社ミマキエンジニアリング（本社／長野県東御市、代表取締役社長／池田 和明）は、サイングラフィックプリント用途に向けて、生産性と画質を従来機より大幅に向上させた多用途の UV-LED 方式 Roll to Roll インクジェットプリンタ「UCJV330 シリーズ」の発売を発表し 10 月下旬より全世界で販売開始いたします。

当社は 2004 年に世界初となる白インク搭載 UV インクジェットプリンタを発売以来、UV プリント技術を追求し、より高品質・多用性をお客様に届けるために製品づくりを続けてきました。この度、当社のフラッグシップモデル「330 シリーズ」の高生産性と高品質に当社の UV プリント技術を融合させ、生産性と画質を従来機から大幅に向上させた「UCJV330 シリーズ」を完成させました。

サイングラフィックス市場では屋外広告看板や車両グラフィックにポリ塩化ビニル（以下、塩ビ）製のシートにインクジェットプリンタで印字された媒体が多く使用されておりますが、近年、地域の景観条例により屋外広告の掲示が制限されたり、環境問題への対応から塩ビシートの利用が制限され始めております。今後、広告看板は掲示場所の変更（屋内の壁・窓及び床）への対応が必要となったり、塩ビシート以外の媒体への切り替えが必要になると見込まれます。

当社の UCJV330 シリーズは基本カラーインクに加え白インクとクリアインクを標準搭載しており、一般的な屋外広告に使用される白いシートのみでなく、乳白（半透明）・透明・下地色付きのシートに様々な表現でプリントできます。またシートの種類も塩ビに加え PET, PU（ポリウレタン）などの樹脂フィルム、布、紙（非コート紙含む）など、幅広い基材にプリントが可能です。

さらに UV プリントは印字後インクの乾燥時間を必要とせず、プリント後即ラミネートやカットなどの後加工ができるため、UCJV330 の生産性と組み合わせることで、その日受けた仕事を短納期で仕上げられることにより、お客様のビジネスの成長と多様化をサポートします。

## UCJV330 シリーズの特長

1. 画質と生産性が大幅に向上。Mimaki の UV プリント技術の結集により高速度帯でも高画質を実現
2. 意匠性を広げるクリアインクで付加価値の高いプリント成果物の制作が可能。さらに 2.5D プリントと透かしプリント機能を追加
3. 最大 5 層プリントに対応し用途の幅と成果物の付加価値が拡大
4. プリント後乾燥時間が不要な UV 硬化インクとプリント後カット機能を搭載。店舗装飾、ポスター、ラベル、ステッカー、ポップ等、豊富なアプリケーション

高画質 UV Roll to Roll インクジェットプリンタ「UCJV330 シリーズ」はサイングラフィックス用途で、多用途・多彩にお客様のビジネスをサポートします。本体価格は UCJV330-130 (130cm 幅) 338 万円 (税別) , -160 (160cm 幅) 358 万円 (税別) で年間 1,000 台の販売を見込んでおります。

UCJV330 シリーズの発売と同時に、当社はクラウド型プリンタステータスマニターツール「PICT」を当社プリンタ製品をご使用のお客様向けにウェブサイトからのダウンロードによる提供を開始いたします。「PICT」は離れた場所からでも PC やモバイル端末でお客様のプリンタの稼働状況や実績を見える化することで、お客様のプリント業務効率の向上と運用管理をサポートします。

## PICT の特長

1. 当社ウェブサイトからのダウンロードによる提供。PC とモバイル端末から Web ブラウザで利用可能。
2. 保有している全プリンタの稼働状況が視覚的に分かり、仕事の効率が向上。
3. プリンタの稼働とインク使用量実績が 1 台ごと及び指定グループで可視化され、メンテナンス計画、インクの在庫管理、生産計画の立案に役立つ。

Mimaki Cloud  
Technology **PICT**



ミマキエンジニアリングでは、『新しさと違い』を経営ビジョンに掲げ、常に新たな技術革新を目指し、お客様が求める「美しさと速さ」の実現を追求し続けてまいります。

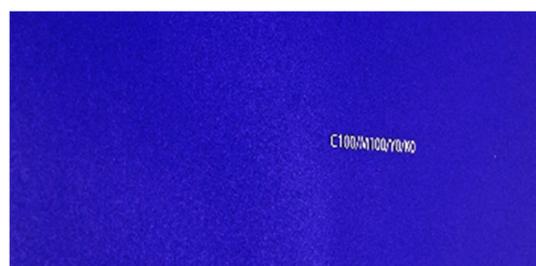
## ◎主な特長

1. 画質と生産性が大幅に向上。Mimaki の UV プリント技術の結集により高速度帯でも高画質を実現  
- 新開発のインク吐出技術 (特許出願中) で高速出力モードでも高濃度部の色ムラを軽減

図 1 従来機の高速出力モード



図 2 UCJV330 の高速出力モード



2. 意匠性を広げるクリアインクで付加価値の高いプリント成果物の制作が可能。さらに 2.5D プリントと透かしプリント機能を追加

- ① クリアインク：カラーインク上にグロス（ニス引き）プリントや透明フィルムにマット（艶消し）プリント

図3 グロス（ニス引き）



図4 マット（艶消し）



- ② 2.5D プリント：デザインに凹凸を追加することでリアルな質感をプラス

図5 2.5D プリントによりアパレル表面や皮革調を表現



- ③ 透かしプリント：後方光源を当てることで2次画像のシルエットが浮かび上がります

図6 昼光による見え方



図7 後方光源による見え方



3. 最大5層プリントに対応し用途の幅と成果物の付加価値が拡大

- ① 2層プリント - カラー版に白版またはクリア版を重ねることで、色付きフィルムや透明フィルム上に鮮やかに表現します。（上記図3, 4）
- ② 3層プリント - 白版を同じ絵柄のカラー版で挟むことで、昼光と後方光源照射時の表現色を保ちます。電飾看板の制作に付加価値を与えます。

図8 昼光による見え方



図9 後方光源による見え方



- ③ 4層プリント – 白版の前後にデザイン色が異なる同型カラー版を挟むことで、昼夜違った表現の電飾看板を制作できます。

図 10 昼光による見え方



図 11 後方光源による見え方



- ④ 5層プリント – 白版の前後に異なるデザインのカラー版と遮光版を挟むことで、外側と内側で違うデザインのウィンドウサインを1枚で制作できます。

図 12 内側（店内）の見え方



図 13 外側（店外）の見え方



4. プリント後乾燥時間が不要な UV 硬化インクとプリント後カット機能を搭載。店舗装飾、ポスター、ラベル、ステッカー、ポップ等、豊富なアプリケーション  
 – プリントとカット1台2役。メディア押さえローラー圧力をプリントからカットモードで自動切換え。  
 切り替える手間が無い上に仕上がりが高品質

図 14 ラベル



図 15 ステッカー



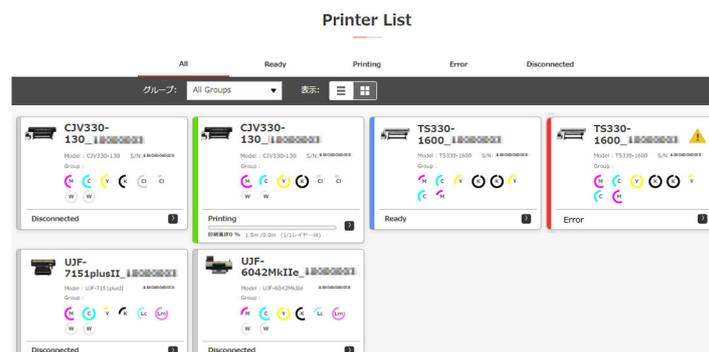
図 16 ポップ



5. クラウド型プリントステータスマニターツール「PICT」

- ① プリンタの稼働状況を視覚的に表示し、空いているプリンタが一目で分かる

図 17 プリンタの稼働状況の表示サンプル



②プリンタの稼働とインク使用量実績をプリンタ 1 台ごと及びグループ単位で可視化。

図 18 プリンタ 1 台の稼働履歴画面

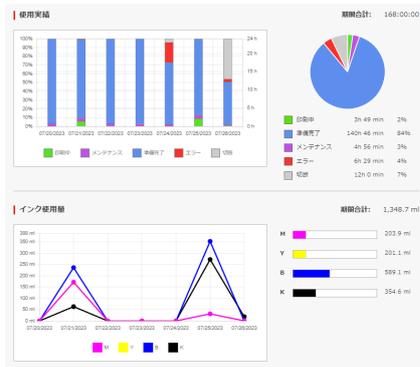
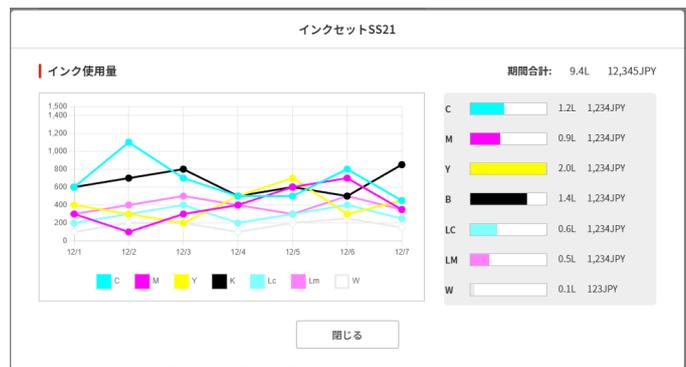


図 19 同インク種のプリンタグループのインク消費量とコスト画面



◎主な仕様

項目		UCJV330-130	UCJV330-160
プリントヘッド		オンデマンドピエゾヘッド	
プリント分解能		600, 1200, 1800 dpi	
インク	種類/色	LUS-170 : C,M,Y,K,Lc,Lm,W,CL(クリア) LUS-200 : C,M,Y,K,W (2023 年冬対応予定)	
	容量	1L ボトル	
最大作図範囲		1,360mm	1,610mm
メディア	最大幅	1,370mm	1,620mm
	厚さ	1.0mm 以下	
	ロール重量	45kg 以下	
インターフェイス		Ethernet 1000 BASE-T (推奨), USB2.0 Hi-Speed	
電源仕様		単相 AC100-120V ± 10% / 12A または、単相 AC200-240V ± 10% / 6A 50/60Hz ± 1Hz	
消費電力		最大 1,440W 以下 x1 / 800W (連続稼働時) / 4.5W 以下 (スリープ時)	
安全規格		IEC 62368-1 準拠 ETL CB、CE (EMC 指令、低電圧指令、機械指令、RoHS 指令) REACH、VCCI クラス A、FCC クラス A KC、RCM、UKCA、EnergyStar	
外形寸法 (W×D×H)		2,640mm x 800mm x 1,480mm	2,890mm x 800mm x 1,480mm
本体重量		217kg	227kg

※記載の仕様、デザイン、寸法などは、技術改善等により予告なく変更する場合があります

株式会社ミマキエンジニアリングについて

ミマキエンジニアリングは、産業用インクジェットプリンタ、カッティングプロッタ、3Dプリンタおよびそのインク、ソフトウェアの開発・製造・販売・保守を行っています。サイングラフィックス、インダストリアルプロダクト、テキスタイル・アパレルの市場に向け、プリント工程のトータルソリューションを提供することにより、お客様に常に「新しさと違い」をお届けするイノベーターを目指しています。

企業・IRサイト：<https://ir.mimaki.com/>

製品サイト：<https://japan.mimaki.com/>

## お問い合わせ先

### ◎報道関係者様からのお問い合わせ先

株式会社ミマキエンジニアリング

営業本部グローバルマーケティング部

インサイドセールスグループ

長野県東御市滋野乙 1628 - 1

TEL : 0268-80-0078 / FAX : 0268-80-0041

MAIL: [press@mimaki.com](mailto:press@mimaki.com)

### ◎一般のお客様からのお問い合わせ先

WEB サイト問い合わせフォームより

お問い合わせください。

<https://japan.mimaki.com/inquiry/negotiation/>